

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2014-234831(P2014-234831A)

【公開日】平成26年12月15日(2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2014-069

【出願番号】特願2013-114733(P2013-114733)

【国際特許分類】

F 15 B 11/00 (2006.01)

F 16 H 61/00 (2006.01)

【F I】

F 15 B 11/00 D

F 16 H 61/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月20日(2016.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

以下、本発明に係る油圧制御装置につき好適な実施の形態を挙げ、添付の図面を参照して詳細に説明する。なお、特に断りのない限り、以下における「下」、「上」は、各図面中の下、上に対応する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

この間、作動油の一部は、第2連通孔90を介して第2弁孔34から導出され、スプリング室35a及び第2プール88(図8参照)に貯留される。スプリング室35a及び第2プール88に貯留された作動油は、第2弁棒32に対するダンパとしての機能を営む。すなわち、スプリング室35aの重力下、上方に第2プール88を形成して作動油を貯留することにより、作動油は、第2弁棒32が移動する際、スプリング室35aから第2プール88、又はその逆方向に、ダンパーオリフィス91を介して移動する。このため、第2弁棒32における油圧振動の発生を抑制することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

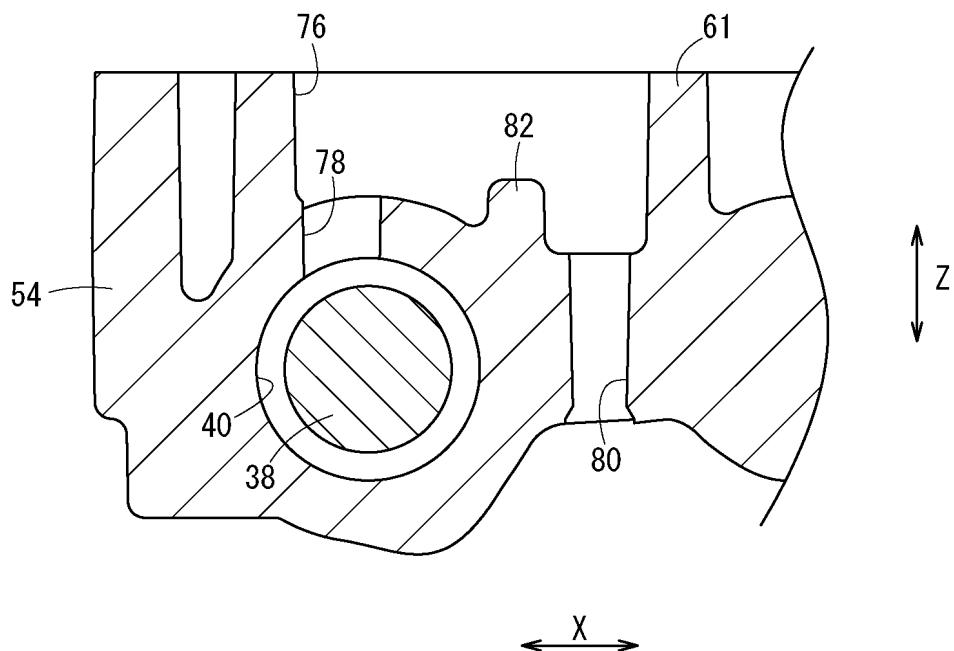
【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

FIG. 7



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

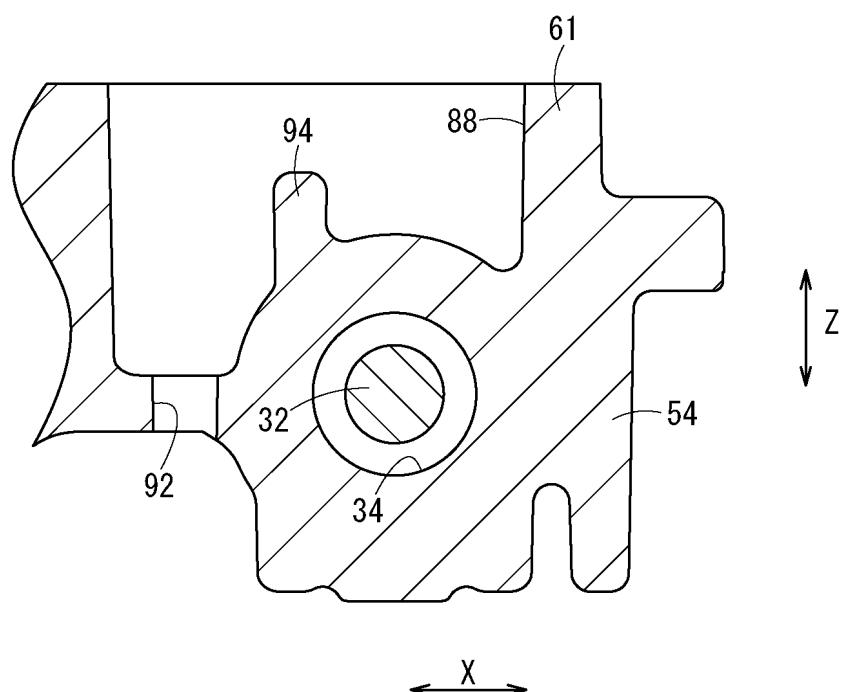
【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図8】

FIG. 8



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】

FIG. 9

